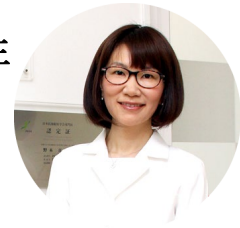


野本真由美クリニック銀座 院長 野本 真由美 先生



「女性の皮膚のゆるみの原因について」

1. 年齢

35歳ごろから皮膚の若さを保つエストロゲンが少しずつ減少し始めます。皮膚の表面には、表皮と真皮の2つの層があります。表皮と真皮が接する領域を表皮真皮接合部（あるいは基底膜）と呼び、線維性の成分により皮膚の構造を維持しています。また真皮から表皮へ栄養素、酸素の供給などを行う機能的な役割も持っています。

若いころは波状にうねって表皮と真皮と強く結合させていますが、加齢に伴い少しずつ平坦になると皮膚がゆるみやすくなります。

(図1 AGING SKIN 参照)

2. 食事でタンパク質の摂取が少ない、糖質の摂取が多い

表皮は主にケラチンというタンパク質、真皮はコラーゲンやエラスチンという皮膚の弾性を保つタンパク質で構成されています。皮膚の「材料」ともいえるタンパク質の摂取を心がけましょう。また糖質を多く摂る方は、余分な糖質が体内のタンパク質と結びついて組織を変性させ、しわやたるみの原因となる AGEs（糖化最終生成物）を作り出してしまいます。

3. むくみやすい体質

運動習慣がなく筋肉量が少ない、体が冷えやすい、飲酒量や塩分摂取が多いなど、浮腫みやすくなる生活習慣を放置すると、水分を含んだ老廃物を真皮のリンパ管へ戻す力が落ちてきます。このような状態が続くと、皮膚が下垂しやすくなります。

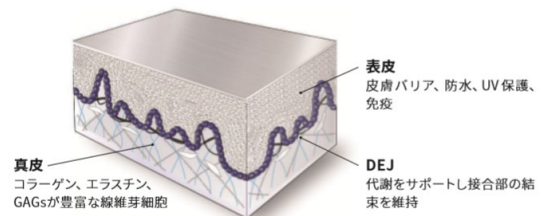
4. 血流が弱い

皮膚は、毛細血管が密集している臓器です。毛細血管は、食事でも得られた栄養素や取り込んだ酸素などをすみずみの細胞まで届けています。豊かな血流があれば栄養は皮膚まできちんと行き届き、代謝されて日々入れ替わることができます。

DEJ：表皮真皮接合部

皮膚は、皮下脂肪（皮下組織）と呼ばれる脂肪層を覆う、表皮と真皮の主要な2つの層から成り立っています。表皮と真皮は、それぞれが複数の層で構成されており、表皮が真皮につながる領域を、表皮真皮接合部と呼びます。ここで、血管を持つ真皮と、血管を持たない表皮とが、酸素、栄養素および老廃物の交換を行っています。

HEALTHY SKIN



AGING SKIN

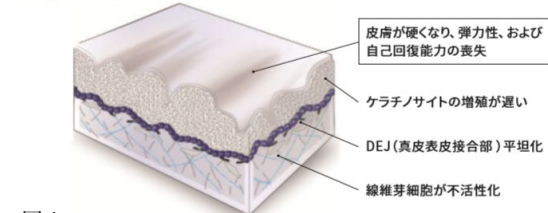


図1

／ 野本先生 ファーミングセラムについて ／

ファーミングセラムは、

➤ **ダウンタイムがない方法で、肌全体のゆるみや頬のゆるみ毛穴が気になる方**

➤ **水分が多く潤いのある肌を目指す方**

に対して、適したアイテムだと思います。

またファーミングセラムのジェル基剤は、

➤ **油性成分で毛穴のつまりが気になる方**

➤ **クリーム基剤で顔が赤くなる、あるいはぶつぶつしやすい方**

にも適しています。

ファーミング + リフティング
トータルアプローチで弾む肌へ
美容皮膚科学発想の美容ジェル

口回り～フェイスラインのゆるみ、ゆるんだ毛穴の開きなどが気になる方のノーダウンタイムの製品。敏感肌や、皮膚のトラブルなどにより高濃度レチノール製品またトレチノインの治療を行うことができない方でも使用することができます。DEJ (真皮表皮接合部)に着目した製品は、ハリツヤの溢れる肌へ、若々しくスッキリ引き締まった印象の肌へ導くサポーターとなり、皮膚の健康(スキンヘルス)のカギを握っているといえます。



ファーミングセラム
内容量：47mL